平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)	授業コード	C109930
担当教員名	赤星　哲也		
配当学年	4	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	6
履修上の注意または履修条件	卒業研究着手条件を満たしていること		
受講心得			
教科書			
参考文献及び指定図書	(Webサイト) 「Python 2.7ja1　日本語ドキュメント」 http://docs.python.jp/2/ 「言語情報処理ポータル」 http://nlp.kuee.kyoto-u.ac.jp/NLP_Portal/ 「NLTK -- Natural Language Toolkit」 http://www.nltk.org/ (書籍) 「これからレポート・卒論を書く若者のために」 　著者:酒井聡樹　出版社:共立出版　ISBN:978-4320005747　出版年:2007年5月 「みんなのPython　第3版」 　著者:柴田淳　出版社:ソフトバンククリエイティブ　ISBN:4797371595 「入門　自然言語処理」 　著者:Steven Bird他　翻訳:萩原正人・他　出版社: オライリージャパン　ISBN:978-4873114705 発行日:2010年11月 「入門　機械学習」 　Drew Conway他著　オライリージャパン　ISBN4873115949 「集合知プログラミング」 　著者:Toby Segaran　出版社:オライリージャパン　ISBN:978-4873113647　出版年:2008年7月 「セマンティックWeb プログラミング」 　著者:Toby Segaran他　翻訳:大向一輝・他　出版社:オライリージャパン　ISBN:978-4873114521　出版年:2010年6月 「Googleを支える技術　巨大システムの内側の世界」 　著者:西田圭介　出版社:技術評論社　ISBN:978-4774134321　出版年:2008年3月 「自然言語処理(岩波講座ソフトウェア科学15)」 　編者:長尾真　出版社:岩波書店　ISBN:978-4000103558　出版年:1996年4月 「IT Text　自然言語処理」 　編者:情報処理学会　出版社:オーム社　ISBN:978-4274204654　出版年:2007年10月 「エージェントアプローチ人工知能　第2版」 　著者:S.J.Russell, P.Norvig　出版社:共立出版　ISBN:978-4320122154　出版年:2008年7月 「IT Text　人工知能」 　編者:情報処理学会　出版社:オーム社　ISBN:978-4274201066　出版年:2005年7月		
関連科目	これまでに履修した専門教育科目、教養基礎科目の全て		

授業の目的	卒業研究は、これまで学んできた専門教育、教養基礎教育の集大成として、知識習得型の授業形式ではなく、学生が自ら問題を発見し、その解決方法を考え、実際にその効果を確認してみる主体的実践的な学習活動を通して、実社会で要求される問題発見、問題解決、文献調査・情報収集、計画立案、論理的思考、文章化、プレゼンテーション、プログラミング、システム設計等の基礎的能力の確立を目標としています。
授業の概要	赤星研究室では、次の研究テーマに関する卒業研究に取り組みます。 ・人工知能(知的システム) ・言語情報処理(NLP) ・Web情報処理(Webインテリジェンス) ・情報検索、など 赤星研究室では、プログラミング言語は主に「Python」を使用します。 原則として、個人では行わず、テーマごとに何名かで研究プロジェクトチームを作り、1年間かけて取り組みます。また、週に1回以上、研究室の全員が集合して報告会を開き、討論を行います。

○授業計画

学修内容	学修課題（予習・復習）
第 1 週 ：	
第 2 週 ：	
第 3 週 ：	
第 4 週 ：	
第 5 週 ：	
第 6 週 ：	
第 7 週 ：	
第 8 週 ：	
第 9 週 ：	
第10週：	
第11週：	
第12週：	
第13週：	
第14週：	
第15週：	
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自分の専門分野をもち、問題意識と探究心を抱くことができる。

【知識・理解】	各専門分野における主な既往の研究について把握している。
【技能・表現・コミュニケーション】	研究成果を、第三者に対し分かりやすく発表することができる。
【思考・判断・創造】	研究の目的に即した調査方法と分析方法を自ら学び、実行することができる。 研究計画を立案し、それに即した研究を締め切りまでにまとめ上げることができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**10点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**30点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**30点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**30点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。
発表・その他（無形成果）	意欲的に卒業研究に取り組んでいるかを評価します。